

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成16年10月7日(2004.10.7)

【公表番号】特表2000-513314(P2000-513314A)

【公表日】平成12年10月10日(2000.10.10)

【出願番号】特願平9-522764

【国際特許分類第7版】

B 6 5 H 59/38

B 6 5 H 51/12

B 6 5 H 59/18

// B 2 9 C 70/16

【F I】

B 6 5 H 59/38 W

B 6 5 H 51/12 Z

B 6 5 H 59/18

B 2 9 C 67/14 C

【手続補正書】

【提出日】平成15年9月26日(2003.9.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 手 続 補 正 書

平成15年9月26日

特許庁長官 殿

## 1. 事件の表示

平成9年特許願第522764号

## 2. 補正をする者

名 称 ザ グッドイヤー タイヤ アンド ラバー カンパニー

## 3. 代 理 人

住所 東京都港区赤坂1丁目9番20号

第16興和ビル8階

C378

氏名 弁理士 ~~(12378)~~ 宮崎 昭夫

電話 03-3585-1882



## 4. 補正対象書類名

請求の範囲

## 5. 補正対象項目名

請求の範囲

## 6. 補正の内容

(1) 請求の範囲を別紙のとおり補正する。

方 式  
審 査

請求の範囲

1. コード供給源からの所定の長さのコード部分を、回転可能なマンドレルに取り付ける装置であって、

回転可能なマンドレルと、

前記コードを、前記回転可能なマンドレルに積極的に送る送りキャプスタンであって、該コードは該送りキャプスタンに入る入側張力と、該キャプスタンから出る出側張力を有する送りキャプスタンと、

前記送りキャプスタンと前記回転可能なマンドレルとの間に配置され、前記コードを所定のパターンで前記回転可能なマンドレル上に配置するコード布設車と、

前記送りキャプスタンと前記回転可能なマンドレルとの間の前記コードと接触し、前記出側張力を測定する第1の張力測定手段と、

前記送りキャプスタンを出るコードの長さを測定する測定手段と、

前記マンドレルの外周部を動的に調整して、前記送りキャプスタンと前記回転可能なマンドレルとの間の前記コードの所定の張力を維持する調整手段とを有する装置。

2. 供給源からのコードを、回転可能なマンドレルに正確に取り付ける装置であって、

回転軸のまわりを回転可能であり、マンドレルの外周部を動的に調整する外周部調整手段を有するマンドレルと、

前記コードを前記マンドレル上に布設するコード布設アセンブリと、

前記供給源と前記回転可能なマンドレルとの間の位置における前記コードの張力を測定する第1の張力測定手段と、

前記第1の張力測定手段からのフィードバックを、該フィードバックに応答して前記マンドレルの前記外周部を調整するように動作することのできる前記外周部調整手段に供給するフィードバック手段とを有する装置。

3. 供給源からの所定の長さで張力を有するコード部分を、支持装置に正確に取り付ける装置であって、

中心間が所定距離離れていて、平行な回転軸のまわりを回転可能な第1および第2の平行なシャフトと、

前記第1および第2のシャフトにそれぞれ取り付けられている第1および第2のプーリと、

前記第1および第2のプーリと外周部において係合し、それらとともに回転可能なリードベルトと、

前記コードの前記所定の長さを前記第1および第2のプーリ上に積極的に送る積極送り手段であって、前記コードは前記積極送り手段を出る出側張力を有する積極送り手段と、

前記積極送り手段と前記第1および第2のプーリとの間に配置され、前記出側張力を測定するように動作することのできる第1の張力測定装置と、

前記所定の張力を維持するように前記出側張力を制御する制御手段とを有する装置。